

15.6 型ワイドタッチパネル液晶ディスプレイ

取扱説明書（操作編）



LT16W81L

ご使用前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。




目次

本書中の表記	3
使用時の確認事項.....	4
液晶パネルについて.....	4
省電力機能について.....	4
表示する	5
解像度を変更する	5
自動画面調整（アナログ接続時）.....	5
タッチパネルを使う.....	6
タッチパネル使用上の注意.....	6
タッチパネルの操作方法.....	7
OSDメニューで調整する.....	9
OSDメニューの起動と操作.....	9
メニュー画面の詳細.....	11
お手入れ.....	18
困ったときは	19
修理を依頼する前に.....	20
機能仕様一覧	21
プリセットタイミング（アナログ接続時）.....	22

本書中の表記




一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
	マニュアルの名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』

使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られています。ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



参考

液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、3個以下です。これは、全ドットの0.00005%以下に相当します。

*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。本機の場合は、6,220,800個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2に従って、副画素単位で計算しています。

省電力機能について

本機の電源が入っていても、コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側が省電力状態になっていたりして本機への入力信号が無い場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になり、電力消費を抑えます。

コンピューター側の省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

本機の各動作状態におけるランプ表示は次のとおりです。

本機の状態	電源表示ランプ
画面表示	点灯(緑色)*
スタンバイ(入力信号なし)	点灯(オレンジ色)
電源オフ	消灯

*「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。

p.16「設定メニュー」

表示する

本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。

解像度を変更する

本機の最大解像度は、1920 × 1080 です。
解像度の変更は、接続するコンピューターの画面設定で行うことができます。
変更方法は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

自動画面調整(アナログ接続時)

自動画面調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。
接続するコンピューターを変更した場合などに行ってください。
この操作は、アナログ接続時のみ必要です。

自動画面調整では、次の項目を調整しています。

- ・クロック
- ・フェーズ
- ・水平位置
- ・垂直位置

調整時の確認事項

調整は次の状態で行ってください。

- ・本機の電源投入時から 30 分以上経過（動作が安定）後
- ・Windows デスクトップ画面などを表示した状態





制限

デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

自動画面調整を行う

自動画面調整は、OSD メニューの「自動画面調整」で行います。

 p.9 「OSD メニューの起動と操作」

 p.11 「メインメニュー」 - 「マニュアル画像調整」 - 「自動画面調整」

タッチパネルを使う

本機とコンピューターを USB 接続すると、タッチ操作をすることができます。ここでは、タッチパネルの使用上の注意や、操作方法を説明します。接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。

複数のディスプレイを接続して使用する場合は、タッチ位置の調整が必要です。設定方法は、次の場所をご覧ください。

<https://faq2.epsondirect.co.jp/qa/Detail.aspx?id=32792>

タッチパネル使用上の注意


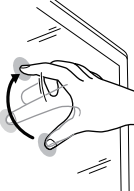
タッチパネルは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 爪や、手袋を着用した指では、タッチパネルは操作できません。
- タップしたときにほかの場所が選択されたり、タップしても選択ができないような場合は、別の指や手の一部などがタッチパネルに触れていないか、確認してください。
- 使用するアプリによって、タッチパネル機能が使用できないことがあります。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、取り扱いには十分ご注意ください。タッチパネルが割れた場合、ガラスの破片が飛び散ることがあります。
 - 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
 - 強くたたいたり、押したり、ボールペンなどの硬いもので触れたり、鋭利なもので傷をつけたりしないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。
- 製品の構造上、タッチパネル表面の温度が上がることがありますが、故障ではありません。

タッチパネルの操作方法

タッチパネルの操作方法は、次のとおりです。


操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 <p>1 回軽くタッチ</p>	クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● スタート画面でタイルからアプリを起動する ● 文字の入力位置を指定する ● メニューの項目を選択する
ダブルタップ	 <p>2 回軽くタッチ</p>	ダブルクリック	<ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップでアイコンからアプリを起動する
タップアンドホールド	 <p>画面をタッチし続ける</p>	右クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップで右クリックメニューを表示する
ドラッグ	 <p>タッチしたまま動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● タイルやアイコンを移動する ● テキストの範囲を選択する ● アプリを終了する
スワイプ	 <p>画面上をスッと払うように指を動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● アクションセンターを表示する ● [閉じる] を表示する

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
ズーム	 <p>2本指で画面をつまみ（ピンチ）、開いたり閉じたりする</p>	[Ctrl] + スクロール ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●画面を拡大する / 画面を縮小する
回転	 <p>2本指でタッチして回す</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ●オブジェクトを回転する

※ アプリによっては、できない操作もあります。

OSD メニューで調整する

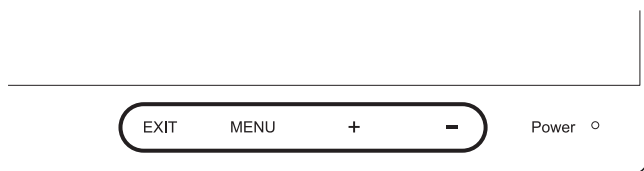
画面表示位置や明るさの調整など、画面に関する設定は、OSD メニューで行います。

調整項目の詳細は、 p.11 「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

OSDメニューの起動と操作

起動や操作には、本機右下側にある次の4つのタッチセンサーボタンを使用します。

・EXIT ボタン ・MENU ボタン ・+ ボタン ・- ボタン



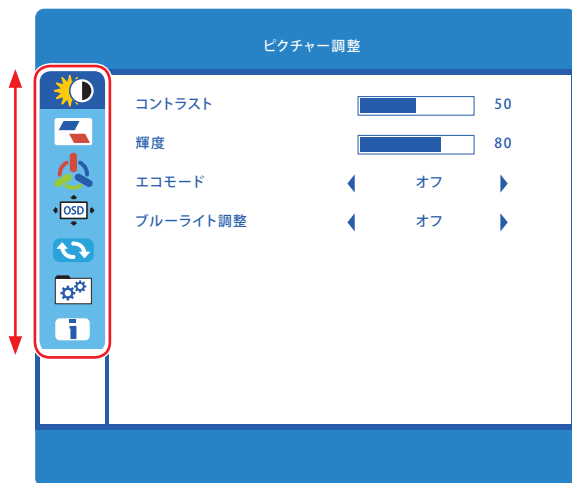
OSD メニューの起動方法と基本的な操作方法は次のとおりです。

●OSD メニューの表示（起動）

MENU ボタンをタッチするとメインメニューが表示されます。

●メニュー画面の操作

+、- ボタンで項目を移動し、MENU ボタンで選択（決定）します。

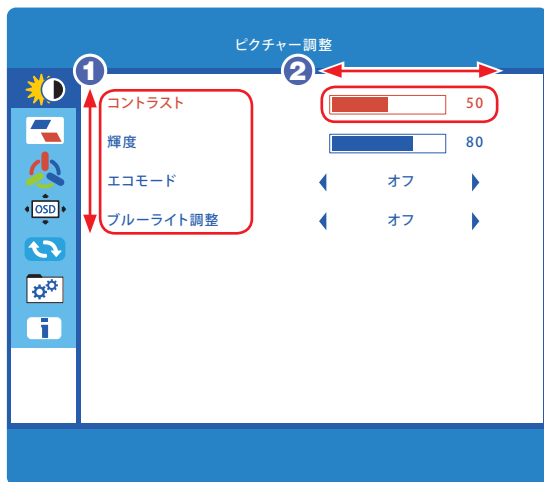


メインメニューの項目を選択（決定）すると、サブメニューを選択できるようになります。

●調整項目の操作

サブメニューに調整項目がある場合の操作は、次の手順で行います。

- ① 十、－ ボタンで項目を移動し、MENU ボタンで選択（決定）します。
- ② 十、－ ボタンで値を調整し、EXIT または MENU ボタンで調整を終了します。



<ピクチャー調整画面>

●OSD メニューの終了

終了方法は、次の2つです。

- EXIT ボタンをタッチする
(サブメニューの場合は EXIT ボタンを2回タッチします。)
- そのまま放置 (初期値は 15 秒)

OSD メニューのロック

OSD メニューの設定を変更されたくない場合は、メニュー表示をロックすることができます。

購入時、メニュー表示はロックされていません。

OSD メニューのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

- MENU ボタンと + ボタンを同時に 3 秒以上タッチする

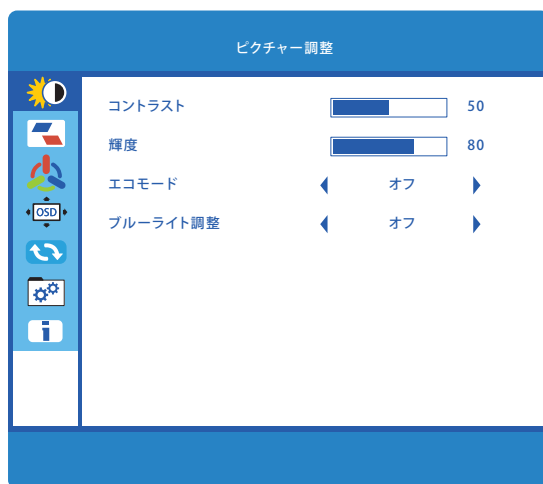
ロックするときは、「OSD ボタンロック」と表示されるまでタッチし続けます。

ロックを解除するときは、「OSD ボタンロック解除」と表示されるまでタッチし続けます。

メニュー画面の詳細

OSD メニューで表示される各メニューの項目を説明します。

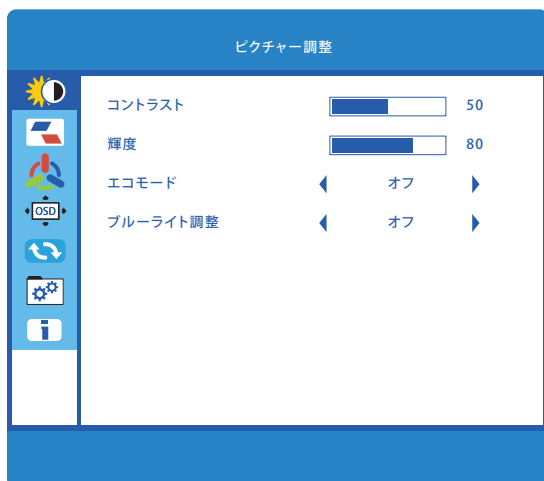
メインメニュー



メインメニューでは、次の項目を選択できます。

項目	内容
ピクチャー調整  p.13 	コントラストや輝度、エコモードの設定、ブルーライトの調整を行います。 ※「カラー調整」(p.15)の「ディスプレイモード」が「スタンダード」のときのみ設定可能です。
マニュアル画像調整  p.14 	画面に関する調整を行います。 ※「画面モードの調整」以外はアナログ接続時のみ設定可能です。
カラー調整  p.15 	色合いに関する調整を行います。 ※「ブルーライト調整」(p.13)が「オフ」のときのみ設定可能です。
設定メニュー  p.16 	OSDメニューの表示に関する調整や電源に関する設定を行います。
メモリーリコール 	OSDメニューの設定を初期値に戻します。
その他  p.17 	入力画面の設定や音量に関する調整を行います。
インフォメーション 	本機の情報を表示します。 表示される情報は次のとおりです。 ・解像度・水平周波数・垂直周波数・ドットクロック・Preset (アナログ接続時のみ表示)・モデル番号・入力

ピクチャー調整



「ピクチャー調整」では、次の項目を設定できます。

※「カラー調整」(p.15)の「ディスプレイモード」が「スタンダード」のときのみ設定可能です。

■ は初期値

項目	内容
コントラスト	画面のコントラスト（明暗比）を調整します。 ※「ブルーライト調整」が「オフ」のときのみ設定可能です。
輝度	画面の輝度（明るさ）を調整します。 ※「エコモード」と「ブルーライト調整」が「オフ」のときのみ設定可能です。
エコモード	画面の輝度を 50（最大設定値の半分）に設定します。 オン / オフ
ブルーライト調整	画面のブルーライトを調整します。 オフ：ブルーライトを調整しません。 1 / 2：ブルーライトを低減します。1 よりも 2の方が低減度が高くなります。


マニュアル画像調整



「マニュアル画像調整」では、次の項目を設定できます。

※「画面モードの調整」以外はアナログ接続時のみ設定可能です。

 は初期値

項目	内容
自動画面調整	アナログ接続時に水平位置、垂直位置、クロック、フェーズを自動的に最適な状態に調整します。  p.5 「自動画面調整（アナログ接続時）」
水平位置	表示画面を左右に移動して調整します。
垂直位置	表示画面を上下に移動して調整します。
クロック	表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。
フェーズ	画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。
画面モードの調整	表示する画面のモードを選択します。 フルスクリーン：全画面に表示します。 4:3：4:3のアスペクト比で表示します。 次のような 4:3 の解像度で表示している場合に実行可能です 例) 640 × 480、800 × 600、1024 × 768

カラー調整



「カラー調整」では、色調を次の項目から選択できます。

※「ブルーライト調整」(p.13)が「オフ」のときのみ設定可能です。

■ は初期値

項目	内容
ディスプレイモード	画面の内容にあわせて、色合いや輝度、コントラストを設定したモードを選択できます。 スタンダード / 映画 / ゲーム / テキスト 「スタンダード」のときのみ、「ピクチャー調整」(p.13)を設定可能です。
色温度設定	画面表示の色調を設定します。 ユーザー：赤、緑、青の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 ウォーム：昼光色に近い自然な色調にします。 クール：昼光色より青みがかった色調にします。 「ユーザー」のときのみ、赤、緑、青の各設定値を変更することができます。

設定メニュー



「設定メニュー」では、次の項目を設定できます。

■ は初期値

項目	内容
言語選択	OSD メニューの表示言語を設定します。 English/日本語
OSD 水平位置	OSD メニューの水平位置を調整します。
OSD 垂直位置	OSD メニューの垂直位置を調整します。
OSD 表示時間	OSD メニューを表示させる時間（秒）を次の 4 つの値から設定します。 5/15/30/60
OSD 背景	OSD メニューを透過表示にします。 0 : 透過させません。 100 : 透過させます。
Auto Power OFF	コンピューターの電源を切ったときに、自動的にディスプレイの電源を切ります。 オフ：ディスプレイの電源は切れません。 オン：コンピューターの電源を切ってから、10 分後にディスプレイの電源が切れます。
LED OFF	電源表示ランプ（緑色）を消灯します。 オフ：電源表示ランプ（緑色）を点灯します。 オン：電源表示ランプ（緑色）を消灯します。
電源ボタンロック	電源ボタンをロックします。 オフ：電源ボタンをロックしません。 オン：電源ボタンをロックします。 電源ボタンロックの設定と解除は、次の操作でも行うことができます。 ● MENU ボタンとーボタンを同時に 3 秒以上タッチする。



「その他」では、次の項目を設定できます。

■ は初期値

項目	内容
入力選択	<p>入力画面の設定を行います。</p> <p>■ Auto : 接続したコンピューターの画面を表示します。</p> <p>VGA : VGA ケーブルで接続したコンピューターの画面（アナログ）を表示します。</p> <p>HDMI : HDMI ケーブルで接続したコンピューターの画面（デジタル）を表示し、音声も出力します。</p> <p>入力選択画面は次の操作でも表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Exit ボタンをタッチする
音量	<p>本機から出力される音声の音量を調整します。</p> <p>音量画面は、次の操作でも表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● + または - ボタンをタッチする
ミュート	<p>本機の音声出力をミュートに設定します。</p> <p>■ オフ : 音が出ます。</p> <p>オン : 音が出ません。</p> <p>ミュートのオン / オフは次の操作で行うこともできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● + ボタンと - ボタンを同時にタッチする

お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。






通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。



困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

下記の対処方法でも改善されない場合は、『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

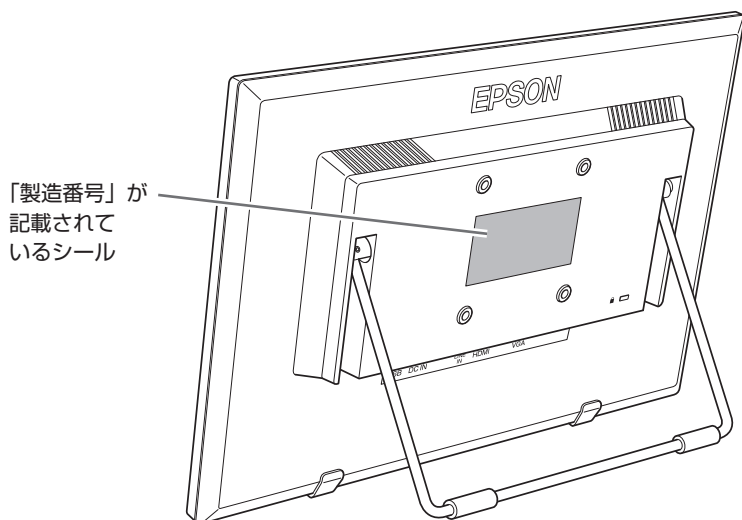
現象	確認と対処
画面になにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の電源が入っている（電源表示ランプが点灯している）かどうか確認してください。 ※「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。  p.16 「設定メニュー」● 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源が入っているか確認してください。 コンピューターの電源が入っている場合は、省電力状態の可能性があります。キーボードやマウスなどを操作してみてください。● 電源コード、ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。 また、コンピューターと本機の電源を切ってから、ケーブルを接続しなおしてみてください。● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.22 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● OSDメニューの「入力選択」で、設定が「Auto」になっているか確認してください。  p.17 「その他」
画面がちらついたり、乱れたりする。	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.22 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● 本機をアナログで使用している場合は、自動画面調整を行ってください。  p.5 「自動画面調整（アナログ接続時）」● お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、 p.19「困ったときは」をよくお読みください。また、お使いのコンピューターのマニュアルもご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、別紙『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、修理受付窓口へ修理をご依頼ください。

製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼付のシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。お問い合わせや修理受付の際に必要となります。シールの位置は、下記のとおりです。



機能仕様一覧

型番	LT16W81L	
サイズ	15.6 型ワイド (可視域対角 約 39.4cm)	
パネル方式	カラー TFT	
画素ピッチ	0.179mm × 0.179mm	
最大解像度	1920 × 1080	
最大表示色	約 1677 万色	
同期周波数	水平：30 ~ 82kHz / 垂直：55 ~ 62Hz	
最大輝度	200cd/m ²	
コントラスト比	500 : 1	
応答速度	約 12ms	
視野角	水平：90° / 垂直：60°	
表示画面サイズ (横×縦)	約 344mm × 約 194mm	
調整機能	アナログ	ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、エコモード、ブルーライト調整)、マニュアル画像調整 (自動画面調整、水平位置、垂直位置、クロック、フェーズ、画面モードの調整)、カラー調整 (ディスプレイモード、色温度設定)、設定メニュー (言語選択、OSD 水平位置、OSD 垂直位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF、電源ボタンロック)、メモリーリコール、その他 (入力選択、音量、ミュート)、インフォメーション
	デジタル	ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、エコモード、ブルーライト調整)、マニュアル画像調整 (画面モードの調整)、カラー調整 (ディスプレイモード、色温度設定)、設定メニュー (言語選択、OSD 水平位置、OSD 垂直位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF、電源ボタンロック)、メモリーリコール、その他 (入力選択、音量、ミュート)、インフォメーション
入力信号	アナログ	アナログ RGB (同期：セパレート)
	HDMI	TMDS (DVI 1.0 準拠)
入力端子	アナログ	ミニ D-sub 15 ピン
	HDMI	HDMI 19 ピン (HDCP 対応)
ライン入力コネクタ	ステレオミニジャック	
スピーカー	1.0W + 1.0W	
タッチパネル	静電式、10 点マルチタッチ対応、USB 接続	
入力電源	AC100V ± 10% 50/60Hz (電源の入力波形は、正弦波のみをサポート)	
消費電力	最大 12W (最大定格)	
温湿度条件	温度：10 ~ 35℃ 湿度：20 ~ 80% (結露しないこと)	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	約 379.2mm × 134.7mm × 236.4mm (20 度で設置時) 約 379.2mm × 253.8mm × 167.6mm (50 度で設置時)	
本体質量	約 1.3kg	
プラグアンドプレイ	VESA DDC/CI	
パワーセーブ	VESA DPMS/DVI DMPM 準拠	
電源連動機能	対応	

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録（プリセット）されています。



制限

- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「アウトオブレンジ」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	31.4	59.9
800 × 600	37.8	60.3
1024 × 768	48.3	60.0
1280 × 720	45.0	60.0
	44.7	59.8
1280 × 768	47.3	59.9
	47.7	59.8
1280 × 1024	63.9	60.0
1360 × 768	47.7	60.0
1366 × 768	47.7	59.7
1400 × 1050	65.3	59.9
1440 × 900	55.4	59.9
	55.9	59.8
1680 × 1050	64.6	59.8
	65.2	59.9
1920 × 1080	67.5	60.0
	66.5	59.9

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。
本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。
PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。
<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきまして、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

© エプソンダイレクト株式会社 2020

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/